

令和6年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名		道路事業 [県道橋りょう修繕事業 (国補)]		事業箇所	甲府市下小河原～小瀬町	地区名	(一) 甲府精進湖線 (中小河原工区)	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画	④特記事項 (関連事業概要等) ・ (一) 甲府精進湖線小瀬スポーツ公園西交差点改良事業 H23～H28 L=166.6m W=5.5m					
	H22～H26	H22～R6	H22～R13						
総事業費	500 百万円	650 百万円	650 百万円						
(1) 事業の概要									
①事業目的及び効果									
本路線は、甲府市街地と精進湖を結ぶ幹線道路で、小瀬スポーツ公園や甲府南高校、甲府商業高校が隣接し、自動車だけでなく歩行者や自転車の通行も多い路線である。また、本計画地域内には山城小学校もあり一部通学路となっているが、歩道がなく通学の児童が危険な状態となっている。このため、通学の児童の安全確保をする必要があることから、歩道の設置を行うものである。									
□主要目標 ○歩行者等の安全性の確保 ・歩行者、自転車交通量 352人台/12h > 80人台/12h以上※ ・自動車交通量 9,023台/12h > 3,340台/12h以上※ ・通学路の指定 あり ・現況の歩道幅員 なし < 1.4m未満※ ※評価基準値									
□副次目標 ○ - □副次効果 ○バリアフリー化の推進 ○緊急時の避難・救助機能の確保									
②事業概要									
歩道設置 L=650m W=2.2m									
③全体計画									
		令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降					
現計画	工事内容	測量及び歩道設計 用地取得・補償 歩道設置工	用地取得・補償 歩道設置工	/					
	事業費	620 百万円	30 百万円						
変更計画	工事内容	測量及び歩道設計 用地取得・補償 歩道設置工	用地取得・補償 歩道設置工	用地取得・補償 歩道設置工					
	事業費	512 百万円	30 百万円	108 百万円					

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

⑤これまでの評価状況 (令和2年度再評価)

この事業は、(一) 甲府精進湖線の甲府市中小河原において、歩行者等の安全を確保するための歩道設置を行うものである。

今回の見直し案の主たる内容は、用地補償費用が増えたことによる事業費の増額と、用地補償交渉に時間を要したことによる事業期間の延伸である。

当該工区については、地元の山城地域からの歩道設置要望が強く、本事業の完了により、歩行者の安全性の確保が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。

事業実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和6年度の完成に努められたい。

(2) 事業位置図等

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

変化なし

②産業・経済情勢

変化なし

③国等の方針

変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和5年10改定）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月改定）
- ・「道路の整備に関するプログラム」（令和5年3月改定）

⑤自然環境条件等

変化なし

⑥その他

変化なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費			百万円		百万円
工期		～		～	
評価基準年					
経済 効 率 性	費用		百万円		百万円
	建設費		百万円		百万円
	維持管理費		百万円		百万円
	その他(百万円		百万円
	便益		百万円		百万円
			百万円		百万円
			百万円		百万円
	その他※		百万円		百万円
B/C					

※歩道の設置事業であり、費用便益の算出規定がないため不算出。

（3）これまでの計画変更等の概要

（令和2年度再評価）

用地補償調査により、補償物件の補償費が増加。また、用地取得の遅れから、計画期間を令和6年度まで延期した。

- ・事業費 500百万円 → 650百万円
- ・完成年度 令和2年度 → 令和6年度

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R6年度進捗率(現計画)100%→(実績)83.3%→(変更計画)83.3%

②進捗率実績が計画と相違している理由
令和5年度末時点での用地取得率は約71%で、用地未契約者は12件であったが、そのうち3件は令和6年度契約見込みである。残り9件は、用地補償交渉継続中である。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
合計		

④事業期間の変更理由及び進捗予定
用地取得交渉が難航したことにより、工事進捗が遅れているため、工期を7年間延長する。未取得の用地については、令和5年度までにすべての地権者と交渉を進めており、引き続き早期契約に努め、令和13年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点
未契約用地の取得

(5) 環境負荷等への配慮
なし

(6) コスト縮減の可能性
なし

(7) 代替案立案の可能性
なし

(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()
(理由)
当該工区は、自動車交通量が多いが歩車道分離されていないため危険な状況であり、歩行者等の安全性の確保の観点から必要な事業である。これまで、用地取得が難航していたが、難航地権者と契約するなど用地取得率は約71%まで進捗している。残る地権者も個別の事情があるものの粘り強く交渉を進めていることから、変更計画に基づき事業期間を7年延長し、令和13年度の完成を予定している。

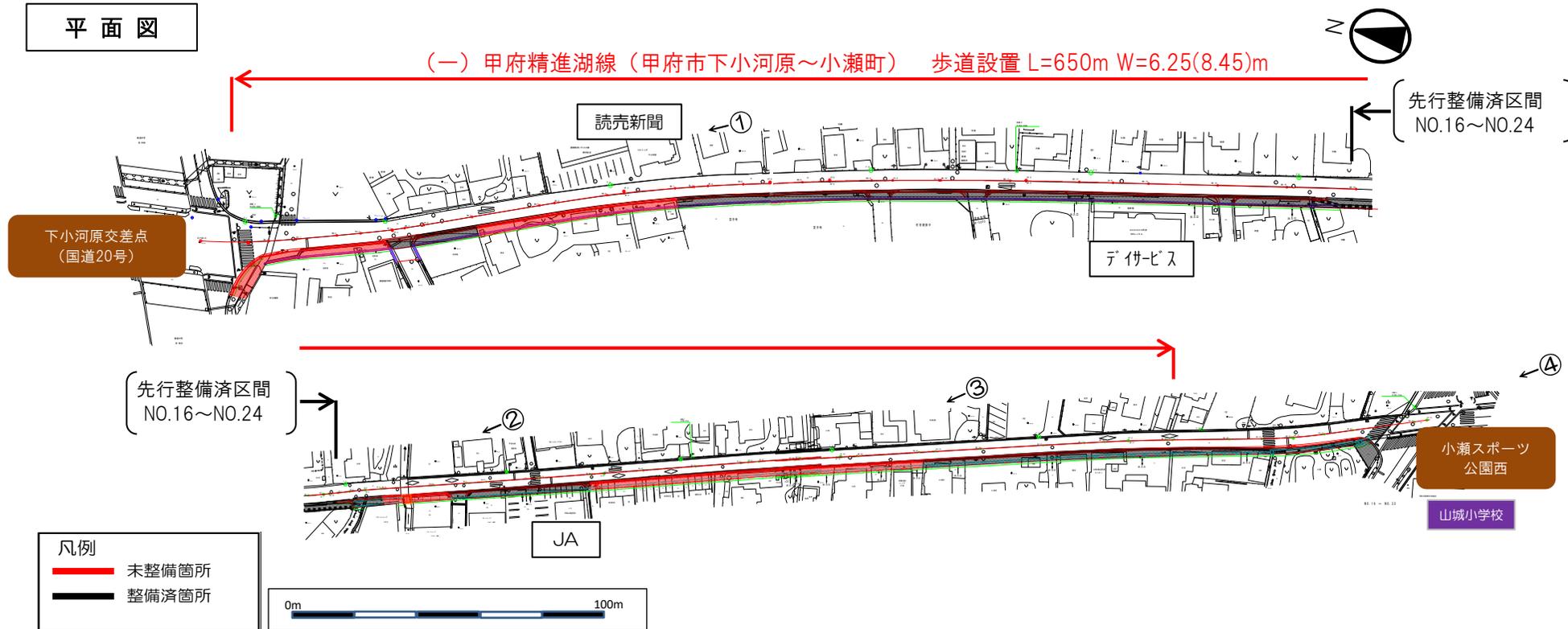
〇別表-進捗率(事業費ベース)
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	*R2	R3	R4	R5	*R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
現	計画	1.9	19.7	28.7	33.8	40.4	45.8	55.2	55.2	60.0	65.9	72.1	80.0	87.7	95.4	100							
	実績	1.9	19.7	28.7	33.8	40.4	45.8	55.2	55.2	60.0	65.9	76.2	76.2	77.1	78.7	83.3							
変更計画																83.3	84.9	86.4	91.0	92.6	94.1	95.7	100

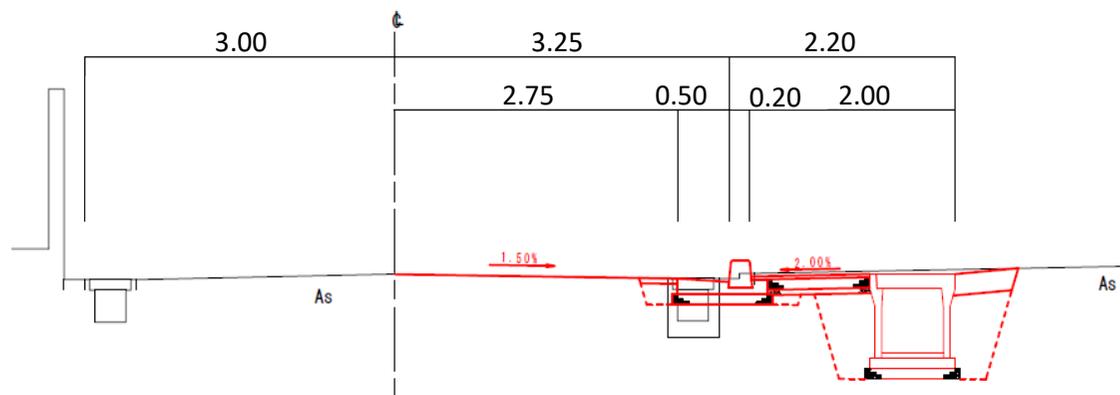
*事業着手年度又は評価年度
*R6年度の実績は見込み

3.添付資料シート(1)

平面図



標準横断面図



3.添付資料シート(2)



①現道の状況(歩道未整備)



③現道の状況(歩道未整備)



②現道の状況(歩道未整備)



④現道の状況(交差点整備済)

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H22	12,352	測量設計、用地・補償	1.9
H23	115,436	測量設計、用地・補償、歩道設置工	19.7
H24	58,781	測量設計、用地・補償、歩道設置工	28.7
H25	33,174	用地・補償、歩道設置工	33.8
H26	42,864	用地・補償	40.4
H27	34,981	用地・補償、歩道設置工、交差点整備工	45.8
H28	60,945	用地・補償、歩道設置工、交差点整備工	55.2
H29	0	用地・補償	55.2
H30	31,197	用地・補償	60.0
R1	38,684	用地・補償	65.9
R2	66,840	用地・補償、歩道設置工	76.2
R3	160	歩道設置工	76.2
R4	5,577	用地・補償	77.1
R5	10,773	用地測量	78.7
R6	30,000	用地・補償、歩道設置工	83.3
R7	10,000	用地・補償	84.9
R8	10,000	用地・補償	86.4
R9	30,000	用地・補償、歩道設置工	91.0
R10	10,000	用地・補償	92.6
R11	10,000	用地・補償	94.1
R12	10,000	用地・補償	95.7
R13	28,236	歩道設置工、台帳修正	100.0
合計	650,000		